

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標: 発見し、はくくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像: よりよい未来を共に創り出す人間

第1号 2022年5月9日(月)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

離見の見

山口大学教育学部附属山口小学校長 吉 鶴 修

昨年、本校に赴任した4月、来年度は新型コロナウイルス感染症も収束し、通常のエデュエツク活動が展開できることを楽しみに過ごしてきましたが、昨年度に比べると10歳前後の子供の感染が増え、学校クラスターも発生している現状です。来年度こそはと、祈るばかりです。

さて、「やまぐち学園」では、幼小中一貫教育に取り組み、6年目を迎えます。本年度は、研究課題を「自己と向き合う子ども3の姿を視点とした保育・授業づくり」として、その姿に迫るためのさまざまな支援を研究して参ります。その支援のキーワードの一つに、「自己調整学習」や「メタ認知」があります。

「自己調整学習」とは、学習過程の全てに学習者自身が能動的に関わり、自己の認知活動や行動をコントロールしながら、効果的に学習目標を達成していこうとする学習スタイルのことです。また、この「自己調整学習」を支えているのが「メタ認知」であり、その役割は自分の学習がどの程度うまく進んでいるかを客観的に観察し、うまく進むように自分で調整する認知能力を言います。このメタ認知が十分発揮されれば、学習者として主体的に学習を進められるようになります。

室町時代に能楽を大成した世阿弥が、能楽論の書である「花鏡」で『離見の見』という教えを述べています。その教えとは、能を演じる役者が客観的な視点を意識することです。能を舞う演者は「我見」という視点を持ちます。同時に、演者は客席から舞台を見る客観的な視点である「離見」をもてるようにすることが大切です。「我見」では、目の前や左右を見ることはできますが、自分の後ろや演じている姿全体を見ることはできません。しかし、「離見」では、演者の見えないところ、演じている自分まで見ることが可能になります。世阿弥は、能を舞うためには「我見」だけでなく、「離見」が必要だと言っています。つまり、演者は自分が見えているものだけでなく、演じている自分の姿も見なければならないのです。

演者は「離見の見」をもつことで、自分の演技を俯瞰する意識をもち、美しい所作とともに芸の完成を遂げることができるとされています。これは、能楽という芸を磨くための芸術論ですが、子供の学びにも必要な認知の一つだと考えています。先程述べた「メタ認知」がまさに、この『離見の見』にあたると思うのです。

では、どうやって、自分を客観的にみればよいのでしょうか。世阿弥は、「目前心後」という考えを述べています。「眼は前を見ていても、心は後ろにおいておけ」ということです。すなわち、自分を客観的に外から見る努力が必要だと言っているのです。学習においても、学習状況の自己観察をもとに内省し、自らの学習を自己コントロールする努力を怠らないようにすることが大切です。

「やまぐち学園」の本年度の研究について、私見を述べて参りましたが、学園で育つ子供が Society5.0 の実現に向け、よりよい未来を創り出していける人間となるように研究に邁進していく所存でございます。地域の皆様、保護者の方々のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

附属幼稚園スタッフ

～今年度もスタッフ一同、子どもたちの豊かな成長のために、一人ひとりの子どもの思いに寄り添いながら頑張っていきたいと思います。～

園長	吉鶴 修	星組1担任	高田 和宜
副園長	大森 洋子	星組2担任	松村 佳枝
花組担任	高橋 千恵	星組補助	宮野しずか
花組担任	尾川 真子	全体補助	中野 朋子
花組補助	木村 恭子	養護教諭	松村 淳子
風組担任	中原 早苗	事務	池田浩弥子
風組補助	鶴永 里恵	保育補佐	橋本 淑子
		保育補佐	佐藤 光恵



一つ大きいクラス
になってワクワク
誇らしい始業式。



園生活の始まりに
期待とドキドキの
入園式。



年長児は、大学の農学部
附属農場で枝豆の種
まきとタケノコ掘りを
しました。



年長児は、県庁での「こいのぼり
掲揚式」に参加しました。





令和4年度の教職員組織



職・担任等	氏名	教科等	職・担任等	氏名	教科等	職・担任等	氏名
校長	吉鶴 修		6-2	原田 勝	体育	学校係長	佐藤 広江
教頭	中村 裕司		専科	岡本 貴裕	算数	事務補佐員	中塚 理絵
教務	重枝 孝明	家庭科	専科	津守 成思	理科	PTA事務	藤田由美子
1-1	志賀 直美	生活	養護教諭	田中小百合		校務事務員	久保田活志
1-2	中川 穂	道徳	栄養教諭	瓦屋 大志		図書支援員	上村 久美
2-1	五十部大暁	国語	非常勤講師	久保田 尚	音楽	給食調理員	井上 純子
2-2	田中 博	体育	非常勤講師	古谷 佳世	書写・家庭科	給食調理員	長崎 梢
3-1	今津 圭佑	図工	非常勤講師	中重 陽子	外国語	給食調理員	波戸崎マコ
3-2	林 絵梨	算数	非常勤講師	伊賀 友弥	体育	給食調理員	杉山志津佳
4-1	後藤 大雄	外国語	非常勤講師	上田 エカテリーナ	A L T	給食調理員	村中 智子
4-2	田島 大輔	社会	非常勤講師	村崎 賢一	通級指導教室	給食調理員	國司さおり
5-1	石田 千陽	音楽	教諭補助員	田村 智香		S C	牛見明日香
5-2	久保田大貴	総合	教諭補助員	西田 裕希			
6-1	池永亜由美	国語	教諭補助員	岡村 駿汰			

新学期がスタートしました！！

つい先日、67名の卒業生を中学校へと送り出したところですが、新たに70名の新入生を迎え、児童数403名で新年度の幕を開けました。先日まで年長のお兄さん・お姉さんだった1年生も、小学校では最下級生。保護者の皆様と一緒に初登校を果たし、6年生に優しく手を引かれながら教室へ向かいました。学校生活にも少しずつ慣れ、学校教育目標「明日につながる学びを創る～学びの楽しさを実感できる学校～」のとおり、全校で日々学びに向かっているところです。子供たちは、自分の考えを形成し、仲間と対話し、新たに気付いたことをノートにまとめていきます。学びの楽しさを実感しながら、明日の学びへ、そして中学校の学びへとつなげていきます。



1年生と在校生がかかわる、素敵な瞬間です

気付いたことを書き留め
次の学びにつなげます

かしこく！
やさしく！
たくましく！

自分の考えを明確にし、仲間に伝えます

【附属中学校】

4月8日（金）の午前中、着任式・始業式が行われました。新2・3年生は、新しい学級、担任・学年の先生との生活をスタートしました。午後からは、入学式が挙行されました。新入生140名が、中学校での新しい生活への期待を胸に、元気に入学してきました。

今年度も地域や保護者の皆様からの変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

着任式



始業式



入学式



附属山口中学校職員紹介 ～1年間よろしくお願いいたします～

校長	前原 隆 志	教 頭	河 村 寛 美	教務部長	吉 村 雅 子	養護教諭	奥 藤 礼 美
1年主任	舛 重 飛 鳥	2年主任	田 中 聡	3年主任	西 村 優 子	事務係長	鬼 塚 久 典
1年A組	上 田 涉 大	2年A組	篠 原 博 之	3年A組	梅 本 陽 翼	事 務	廣 石 あ け み
1年B組	玉 村 恵 理 子	2年B組	山 信 和 也	3年B組	西 村 勇 輝	PTA 事務	兼 行 美 樹
1年C組	秋 山 広 之	2年C組	三 浦 里 穂	3年C組	竹 田 崇 志	専門職員	品 川 美 佐 枝
1年D組	中 武 裕 太	2年D組	鶴 永 大 貴	3年D組	松 元 泰	非常勤講師	五 東 和 久
1年副担	浅 賀 亮 史	2年副担	河 原 咲 子	3年副担	徳 光 慧	非常勤講師	山 本 剛
※ 〃は、今年度着任。		2年副担	長 田 有 広			非常勤講師	尊 田 エヴァ
						非常勤講師	藤 川 騎 士
						非常勤講師	静 屋 沙 代 子
						教諭補助	竹 内 圭 吾
						スクールカウンター	牛 見 明 日 香

4月の附属中学校の様子

保健体育の授業では、全校で「集団行動」カーニバルを行いました。

各学年の4クラスが、学年を越えて縦割り班となり、「集団行動」に取り組み、練習の成果をカーニバルという形で披露しました。集団としての一体感や達成感を得て、次に縦割り班で活動する学園祭の体育部門への心構えをもつ生徒の姿がありました。

